



# 例会ニュース

発行：事務局

例会開催日時：1月22日（木）18時30分～20時20分 於：弘前文化センター会議室

## 今月のメインタイム

### 「短命県返上！Dr. 中路から健康問題を学ぼう！」

厚生労働省の平均寿命調査で男女とも全国最下位の青森県。「短命県返上！」にむけて精力的な活動を行っている、弘前大学大学院医学研究科長・医学部長、中路重之教授をお招きしました。「目からウロコの短命県返上の話」と題して(質疑応答を含め)90分にわたりたっぷりお話して下さいました。

Dr. 中路は「勝負は患者が病院にくる前だ」と、約20年前から病气予防を活動の中心に置き、健康に関する「気づき」を促すばかりでなく、青森県民に「幸福」と「元気」を与え続けている。



青森県が「短命県」を返上するには3つのポイントがある。①悪い生活習慣(喫煙、多量飲酒、肥満、食塩過剰摂取など)、検診受診率の低さ、病院受診の遅さと通院状況の悪さ、などを良くする ②県民の知識と意識を上げること ③県全体の健康意識の盛り上がりが必要、そして健康仲間づくりが必要、と説く。

青森県と沖縄県と長野県の平均寿命ランキングの推移を比較。長野県は、ここ数十年で平均寿命TOPに躍進した。長野県に学べ。長野県に出来たのだから、青森県に出来ないはずがない(悔しくないか)。正しい知識と考え方を身につけ、青森県全体で盛り上がり、健康リーダーを育成し、自信を持てば必ずできるはず！

## Topics

### ● 13の徳目朝礼東北ブロック大会 参加者募集中！

小枝リーダーシップ委員長が高らかに、「目標は全国大会出場！」と宣言いたしました。もし全国大会への出場となれば、青森経営研究会にとって初めての出場となります。有志諸君、ご応募お待ちしております。

・東北ブロック大会

日時：平成27年3月24日（火）

場所：岩手県花巻市

### ● 今月(1月度)の例会出席率は 67.2% でした(〆<)

日創研青森経営研究会、全会員数61名中、今月の例会出席者は41名でした(うち1名がTV電話による参加)。

事務局の今期目標は「例会・総会の平均出席率75%を目指す」です。残念ながら借金スタートとなってしまいました。来月以降、さらなる声掛けで目標の出席率75%を上回れるよう行動します。

## 丹代会長のあいさつ



弘前から2時間以上離れた自動車整備工場のオーナーから、「売上が57%減った、困っている」と相談を受けた。道路がきれいに整備されて交通の便が良くなり、地元顧客が他地域に流れてしまったという背景がある。

そこで、私は「電話をかけまくれ！」とアドバイスをし、その方は実行した。そして、今は持ち直している。

先日私の息子がヒロロでお笑いLiveに出演し、友人が30人くらい観に来ていた。そして、地元紙にも取り上げられた。感銘を受けた。今のような(厳しい)時代は、自らすすんで動くことがとても大切だ。自ら動いた人が売上を上げている。この会も自ら動いて元気になっていきましょう。また、すべての源は健康なので、本日は中路教授からしっかり健康について学びましょう！

## 来月メインタイムは、工藤貴久さん（工藤農園）のご講演



『寝る間も惜しむ努力と楽観主義。この二つがあって、チャンスにつながる発想は生まれる』と題して、2012年12月号の「理念と経営」に登場した、工藤貴久さん(弘前市)の講演。

15年前に寝耳に水で、父が残した4000万円近くの借金を引き継ぎ農園を継承する。妻が「寝ているのを見たことがない」と言うぐらい働き続け計画的に返済し、完済が視野に入ってきた矢先に雹害にあう。「あ、来たか。今度はこれか、と思いました。私はピンチが訪れると、自分が何かに試されていると感じます。で、それを克服すると、さらに飛躍できると、思うんです。だから、雹にやられて大変だとは思ったけど、へこたれはしなかった。何か手があると思った」そして、発想の転換。「的中りんご」のネーミングで窮地を脱する。

次回、2月度例会は総会。2月17日（火）18:30よりCSグループ研修室です。